第二：身代わり

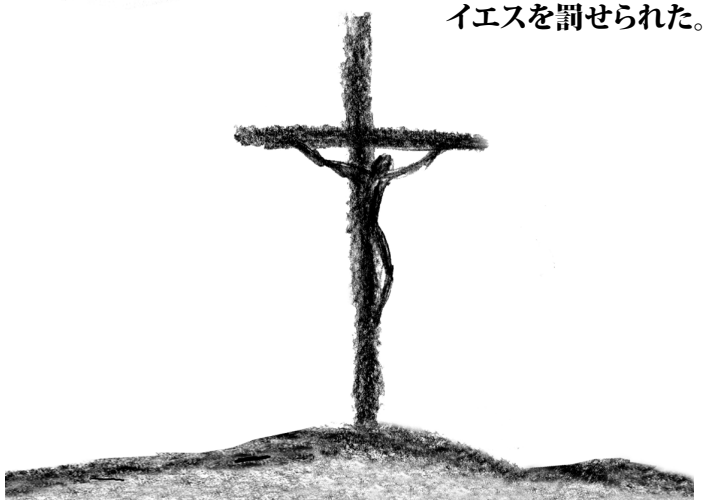
キリストは私たちに代わって死んで下さった。

神は罪ある人々を罰せずにはおれないので、神はその怒りを、私たちの代わりに、イエスの上に注ぎかけました。イエスは正に私たちの身代わりとなりました。イエスは私たちの罪のために罰せられ、私たちの当然受けるべき、その死を受けられました。

「しかし彼は、私たちのそむきの罪のために傷つけられ、私たちの不義のために砕かれた。彼がこらしめを受けることによって、私たちに平安をもたらした。」
(イザヤ書53章5節)

「そして三時ごろに、イエスは大声で叫んで、『わが神、わが神、どうして私をお見捨てになったのですか。』と言われた。」
(マタイ伝27章46節)

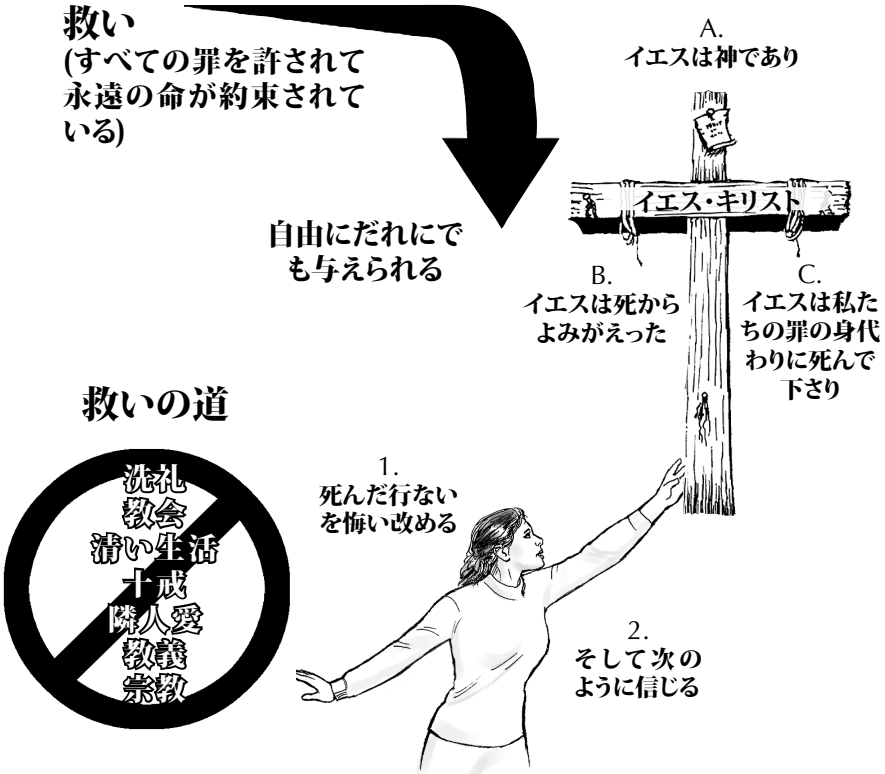
神は私たちの代わりに、ご自分の一人子、イエスを罰せられた。



要約すると：

私たちの罪は、人と神とを完全に断絶させる原因となりました。しかし神の子、イエスは十字架上で私たちすべての罪をご自身に受けて下さいました。それゆえ私たちは、イエスによって神に近づくことが許されました。

「イエスは彼に言われた。『わたしは道であり、真理であり、命なのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに行くことはできません。』」
(ヨハネ伝14章6節)



いままでに天国に行くには、なにか良い行ないをする基準に少なからずかなうとか、宗教的な規律とかを最小限守る必要があるとか思ったことがありますか。

そして、まだそのように思っていますか。

イエスが十字架上で成して下さったことを理解できますか。今それを自分の言葉で説明できますか。

いままで、このように正しく説明を受けたことがありますか。

さあ、次のように自問してみて下さい。「イエスは自分のために十字架に掛かり、すべての罪を清算し、天国への道を開いて下さったことを信じているだろうか?」

❑ はい　❑ いいえ